

# 平成29年度の主な事業を紹介します

## 第2次十和田市総合計画

将来都市像の実現に向けて、今後どのようなまちを目指すのかを各分野ごとに定めた基本目標に沿って事業を行います。

### 1. 市内外からより多くの人々や消費を呼び込めるまち（産業振興）

**あおもり10市大祭典in十和田事業** 865万円  
「あおもり10市大祭典in十和田」の開催にあわせ併催イベントを行い、観光客に対し観光資源と産品のPRを行います。

### 2. 地域全体で子育て・子育てをしっかりと支えるまち（子育て・教育）

**学校施設非構造部材耐震改修事業** 7,893万円  
学校施設の屋内運動場について、照明器具などの付属設備の落下防止対策工事を行います。

### 3. すべての市民が健やかに暮らせるまち（健康・福祉）

**健康診査事業** 1億485万円  
がんの早期発見のため、各種がん検診や一部対象者への無料クーポンの配布を行います。

### 4. だれもが楽しく学び、豊かな心と文化が息づくまち（生涯学習・文化・スポーツ）

**八甲田パノラマパークゴルフ場増設事業** 3,364万円  
市民の利用機会を増やすため、18ホール増設します。

### 5. 地域で助け合い、災害に強く犯罪のない、安全・安心なまち（安全・安心）

**高齢者運転免許自主返納支援事業** 150万円  
運転に不安を感じる高齢者の運転免許の自主的な返納を促し、交通事故の少ない安全・安心なまちづくりを目指します。

### 6. ゆとりと潤いあふれる暮らしを実感できるまち（環境）

**高木化樹木剪定事業** 450万円  
落枝や倒木の恐れのある高木化した樹木を剪定し、安全性確保と景観保全を図ります。

### 7. 快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまち（都市基盤）

**道路整備事業** 7億1,708万円  
国の補助制度などを活用し、道路整備を行います。

### 8. 地域経済社会の持続的な発展を支える強固な経営基盤が確立したまち（自治体経営）

**ふるさと納税推進事業** 3,030万円  
市へのふるさと納税を促進し、地域振興などに活用します。

## 地方創生に向けた取り組み

人口減少対策として、「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に掲げる基本目標を達成するため、地方創生特別枠として各種事業に取り組みます。

### 1. 地域における安定した雇用を創出する

**DMOによる観光地域づくり体制構築事業** 1,229万円  
観光地経営の視点に立った日本版DMO（観光地域づくりを行うかじ取り役）の組織化に向け、調査、研究などを行います。

### 2. 地域への新しいひとの流れをつくる

**住宅取得・改修補助事業** 3,630万円  
定住自立圏域外からの転入者の住宅取得・改修費の一部を補助します。

### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

**妊娠期からの切れ目のない子育て支援事業** 509万円  
助産師による訪問・相談事業の実施や子育て情報配信システムの導入などにより、妊娠期から子育て期までの子育て支援体制の充実を図ります。

### 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

**元気な十和田市づくり市民活動支援事業** 1,200万円  
地域で活動する団体による自主的なまちづくりの取り組みを支援します。

## 大規模建設等事業

十和田市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の更新や改修などを行います。

**市庁舎建設事業** 12億7,611万円  
(平成29年度から平成31年度まで 48億1,434万円)  
**三本木中学校建設事業** 2億6,754万円  
(平成28年度から平成32年度まで 45億4,869万円)

## 国立公園満喫プロジェクト事業

十和田八幡平国立公園が、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」の対象に選定されたことから、平成32年度までの5年間で、インバウンド（外国人観光客の誘客）対応や施設の改修などの各種事業を行います。

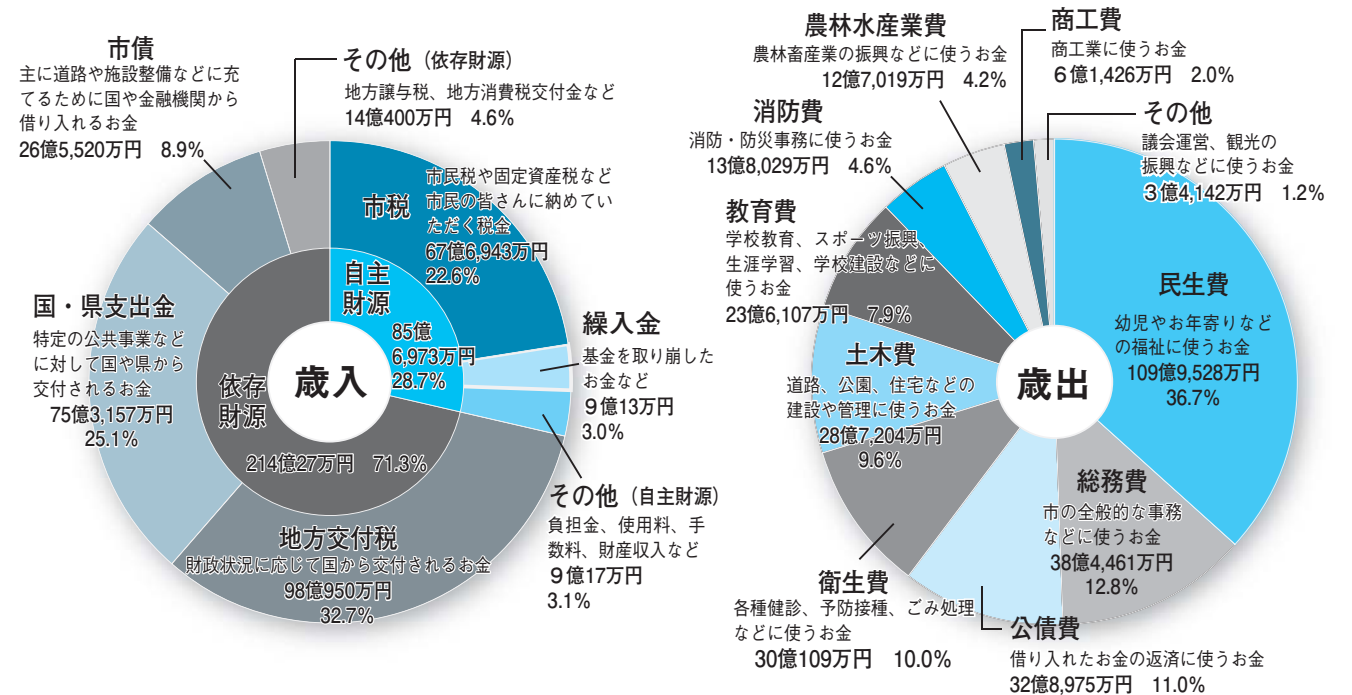
平成29年度事業費 2,588万円

※その他の事業につきましては、市ホームページでご確認ください。

◆歳入◆  
市税は、前年度比2.5%増の67億9,433万円を見込んでおり、地方交付税は、同比3.0%減の98億9,500万円を見込んでいます。また、市債については、同比1.7%増の26億5,520万円を見込んでいます。

◆歳出◆  
市庁舎建設事業費などの増加に伴い、総務費で3.3%増の38億4,461万円を見込んでいます。また、教育費については、三本木中学校建設事業費などの増加に伴い17.3%増の23億6,107万円を見込んでいます。

■一般会計当初予算299億7千万円の内訳（1万円未満は四捨五入）

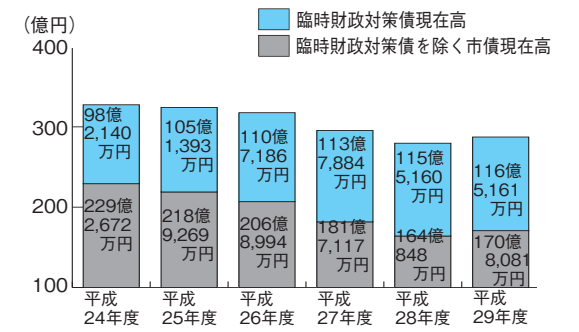


■各会計予算の前年度比較・各会計への繰出金の状況

会計名	予算額	前年度との比較	増減率	一般会計からの繰出金
一般会計	299億7,000万円	9億7,000万円	3.3%	-
特別会計				
国民健康保険事業	83億8,907万円	1億9,914万円	2.4%	7億8,942万円
後期高齢者医療	5億8,589万円	3,864万円	7.1%	2億529万円
介護保険事業	68億4,561万円	2億2,725万円	3.4%	9億9,388万円
温泉事業	2,646万円	△317万円	△10.7%	0円
企業会計				
水道事業	29億2,385万円	△5億3,142万円	△15.4%	1億5,842万円
下水道事業	49億5,706万円	△1億3,160万円	△2.6%	12億1,189万円
病院事業	98億955万円	△4億1,918万円	△4.1%	13億5,069万円

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

■一般会計当初予算での年度別市債残高見込み額の推移



※臨時財政対策債とは、財源不足を補てんするため借り入れする市債で、償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源といえます。

## 用語解説

一般会計…教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。  
特別会計…特定の事業を行う場合や保険料など特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。

企業会計…企業的人格をもった事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。  
自主財源…市税、分担金及び負担金、使用料および手数料など市が自主的に確保できる収入です。  
依存財源…地方交付税、国庫支出金、県支出金など国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりする収入です。

平成29年度の予算が決まりました！